



# 泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校



第8号 H16.1.7  
編集: SSH推進室  
発行: 新井 健了

## 「コスモサイエンス」たより

10月より始まった学校設定科目「コスモサイエンス」が第6回目まで終了しました。講義ばかりでなく、第3回目は金沢工業大学へ出向いての製作実習、そして第5回目は本校の化学実験室での実験と、実習を伴う授業も展開されています。個々の授業についての詳細は「コスモサイエンス たより」を発行していますが、その一部をご紹介します。

### 第1回「科学技術の発展」

講師 金沢大学 工学部教授 田中一郎先生

第1回目の講義ということで、緊張していた生徒たちですが、講義が始まり次々とあびせられる質問に、緊張も解け真剣な表情で講義を受けていました。



### 第2回「H-Aロケットの開発」

講師 元宇宙開発事業団 参事 田中辰夫先生

「ものづくり」に関する第1回目の講義でした。ロケットを打ち上げる際の苦労話や、日本の宇宙開発について熱心に講義してくださいました。



### 第3回「スターリングエンジンの製作(実習)」

講師 金沢工業大学 教授 加藤 聡先生 大学院生10名



初めての实習でした。スターリングエンジンの原理や歴史について講義を受けたあと、「空き缶を利用したスターリングエンジン」の製作実習に取り掛かりました。大学院生の手助けを受けながら作業を進め、約2時間かけてスターリングエンジンを完成させました。「ものづくり」の楽しさや大変さを学習した1日でした。

### 第4回「日本の宇宙開発」

講師 日本宇宙フォーラム 常務理事 寺門邦次先生

「オープンスクール泉丘」の公開授業として行われた講義は、宇宙飛行士の採用試験から訓練、ミッションへの参加に及ぶ講義でした。特別に持参して下さった宇宙食や簡易トイレの实物は、生徒の興味を大いに引きました。



### 第5回「環境放射線の観察」

講師 北陸電力科学館 戸田一郎先生



初めての实验でした。全ての生徒が白衣を着用し、緊張の中で实验が行われました。一人一人が实验装置の霧箱を作成し、ラドンガスの出す線を観察しました。今回の实验で放射線に対するイメージがかなり変わった生徒もいたようです。

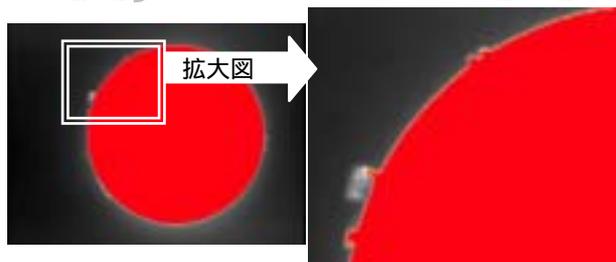
### 第6回「根上隕石からわかること」

講師 金沢大学 理学部教授 小村和久先生



ヤンキースの松井と根上隕石の関係から始まった講義は、放射能と放射線の基礎、そして化学研究へのさまざまな応用場面を紹介。また、『根上隕石』の持主である本校の笹谷昌弘教諭も顔を出し、隕石の落下した当時の状況を説明してくださいました。こんな身近に隕石の持主がいるなんて・・・。

# 太陽フレア観測!!



今年度購入した太陽フレア観測機器を使用して太陽観測を行いました。北陸特有の変わりやすい冬の天気の間をぬって行った観測会は、見事な太陽フレアや黒点を観察することが出来ました。新村校長、和角事務長、吉田事務次長も観測会に参加されました。太陽像の美しさと吹き上がるフレアにみんなびっくり!!!

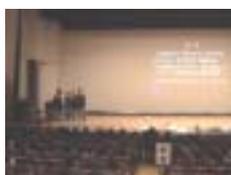
冬休み中の観測会だったため、残念ながら生徒に見せることは出来ませんでした。次は地学の授業に取り入れ、学習効果アップに役立てていきたいと思ひます。

## 高志高校との交流会のお知らせ

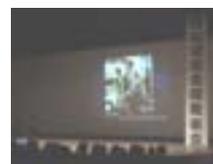
SSHたより第4号でお知らせしました高志高校との交流会が2週間後に迫ってきました。高志高校からは理数科1年生40名と担当教諭数名が本校を訪れる予定になっています。交流会では、最初にそれぞれの学校が1年間進めてきたことの報告会を行います。その後、全生徒が5~6班に分かれ高志高校の先生による数学授業、本校の先生による理科実験を行う予定になっています。

日時	平成16年1月24日(土)	10:30~14:40
場所	本校 大会議室 理科実験室 教室 食堂	
日程	10:30~10:50	対面式
	11:00~12:00	SSH実践活動発表会 (大会議室) 各校30分で今年度の実践活動を発表します
	12:00~12:50	交流会《昼食・休憩》 (食堂)
	13:00~14:40	両校の教諭による授業及び実験 (各教室) 数学 ????(高志高校で検討中) 物理 ビー玉式スターリングエンジン製作 化学 パソコンと分子模型を使って分子の構造を探る 生物 DNAを抽出しよう 地学 地層観察と化石発掘

## 3校合同課題研究発表会



12月12日(金)、小松市公会堂において、七尾高校、小松高校、泉丘高校3校合同の課題研究発表会が開催されました。本校からは「発光バクテリアの有用性の探索(沖尚子・表信也・中川陽一郎・西原大道・吉國秀平)」、「カオスとフラクタル(出村康弘・前田隼見・望月恒太)」、「自転車エル



ゴメータによる激運動が主観的疲労感覚、生理学的応答及び身体重心動揺に及ぼす影響(塚本佳代・三村和起子・岩鍛治大史・川田哲平・山本達也)」の3研究が発表しました。後期中間試験直後の発表会で、発表者の生徒たちは準備が大変だったようですが、半年以上かけて研究してきた成果を堂々と発表していました。

## あとがき

明けましておめでとうございます。2004年が幕を明けました。SSH事業の1年目がもう少しで終わりという時期となり、報告書のまとめ作業も本格化してきました。そして、来年度の計画を立案しなければいけない時期となりました。今年度の反省点を活かし、より実り多くなるよう、事業計画、予算書を作成していこうと思っています。1年を通しお気づきの点などありましたら、ぜひ理数科指導室までご連絡ください。